



えん 園 だ よ り 7 月 号



Y M C A 保育園ねがい

2025年7月1日発行

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

どんなことにも感謝しなさい。」テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章16～18節

今年も暑い夏がやってきました。気温も、地震も世界の動きの不安も高まります。今は、夜空に七夕の星を探したり、花火を見上げたりすることもなかなか難しくなりました。

そんな中、今月の聖書の言葉は、難しい内容です。楽しい事ばかりではないのに、何を喜べと言うのでしょうか！天国から父母のもとに天使になって舞い降りてきた子ども達。でも、地上では、楽しそうに笑ってばかりではありません。笑顔が急に怒りにかわり「イヤイヤ」と駄々をこね、「あっち行って」「大嫌い」と言い、何をしても心が静まらない時があります。初めての誕生日を過ぎた頃でしょうか、母と自分が別々に生きている事に気づき「自分」が育っていきます。「私がやりたい事」は「これではない」⇒「違う」⇒やりたくないから「イヤ」となります。葛藤から、かんしゃくをおこしたり・わめいたり・泣いたり・・・！

私は子育て中、子どもの不機嫌に心が折れ、怒りも倍増し、「怒るからね！」（すでに怒っているのですが・・・）と大きな声で脅したり、「止めなさい！」と思わず手を出したり・・・したこともありました。

先日、バギーに乗った子がかんしゃくを起こして自分の靴を投げました。電車で私の前の席に座ったお父さんはバギーを押さえ、必死に話しかけます。それでも「イヤイヤ」は止まりません。でも、ちいさな手はずっとお父さんの手を撫でていました。イライラしていても大好きなお父さんです。私も仕事として子どもと過ごす時には、少し冷静になって、（たとえ不機嫌でも）たいていの子どもの姿を慈しみ、喜ぶことができます。

未だに、困りごとが一つもなくなるという事はありません。簡単に解決できず、ルーティンが大変になると悪循環のスパイラルに陥ります。①「～しなければ」「××してはいけない」と叱咤。②「もっと、頑張って」と激励。③無理をする。④無理がたたって病気になる。⑤ますます忙しくなる。この悪循環？！何もできず、失敗する私でも、チームの力に助けられています。みんなで頭を抱えて困っていると、保育の方向性を確認できます。

厳しい環境の中、目に見えて一人ひとりの心と身体がすすく育つ子どもの姿に希望を望み、大人も力をあわせる事ができますように。心も体も健康でタフに過ごせますようにと祈ります。（園長 今井 世都）

